

# 静岡市立川原小学校

静岡県埋蔵文化財センター

## 出前授業レポート

令和4年6月23日（木）

「昔の人の苦勞を体験することで、歴史が身近に感じられました。」

静岡市立川原小学校の6年生68人が、社会科の授業で昔の人々の暮らしを探ることを目的に、宮城嶋先生が出前授業を計画し、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験活動を行いました。

### 土器の分類体験



縄文土器・弥生土器・古墳時代から使われた須恵器について簡単な説明を聞いた後、箱に入った状態の土器片を分類しました。分類に迷った土器片は、完形品と見比べて、色や厚さ、重さ、線の入り方などを頼りに分類しました。縄文土器ははっきりわかりましたが、弥生土器と須恵器の見分けが難しく、かなり悩んでいました。しかし、班のみんなで話し合いながら、分類を完成させることができました。



・「本物の土器にさわったよ」



「黒曜石で  
ジャガイモが切れて  
すごいと思った。」



黒曜石はどこから来たのだろうか？身近には無いこと、遠くから運ばれてきたこと等、簡単な説明を聞いた後、実際に、新聞紙や先生が用意してくださったジャガイモを黒曜石で試し切りしてみました。半信半疑でしたが「本当に切れた！」、「切れ味が良くて、びっくりした！」と驚いていました。遺跡から出てきた縄文時代の石斧を持ってみて「重い...」、黒曜石の鍬（やじり）の細かいつくりに見入っていました。どうして黒曜石が貴重な石だったのか、体験を通じて実感することができました。

### 石器の試し切り体験



### 火起こし体験

体育館の昇降口付近で行いました。火の意義を考えた後、もみきり法や弓きり法、舞きり法などの火起こし方法を学び、舞きり法で実際に火起こしです。初めは弾み車を調子よく回せますが、だんだん押す手がきつくなり、回転力が鈍ってきますが、頑張って回し続けると火種を作ることができました。風の向きを読み「フーフータイム」。火種が火口につき、燃え上がりました。2人1組で弾み車を回し、何度も火を起こした班もありました。

・「初めてやったけど、大変だった。」



### 宮城嶋先生の感想

「当時の暮らしの大変さを体験を通して学ぶことができました。1講座の時間配分もちょうど良かったです。喜々として土器を触ろうとしていた子供たちも多く、貴重な体験ができました。ありがとうございました。」



・「昔の体験ができてよかった」